

平成19年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成19年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成19年12月12日(水)～13日(木)に東京ガーデンパレスにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者79名、委託関係者40名ほか、計140名の参集を得て、除草剤33薬剤(290点)、生

育調節剤11薬剤(58点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成19年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
1. AH-01液 グリホサートPナトリウム塩 11.5% [明治製菓、北興化学 工業]	ブロッコリー	適用性 継続	新潟農総園研 愛知農総試 京都丹後<収量> (3)	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対)ブリガロックSL液 600mL<100>	実・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または定植8日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a (継) ・定植前処理での薬害について年 次変動の確認
		適用性 継続	新潟農総園研 植調研究所 愛知農総試 (3)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対)ブリガロックSL液 600mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a (注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・作物に飛散しないように散布す る。
	ハクサイ	適用性 継続	植調青森 三重科学技術 和歌山暖地園芸 <収量> (3)	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハス液 300mL<100>	実・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または定植6日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a (継) ・定植前処理での薬害について
		適用性 継続	植調青森 三重科学技術 和歌山暖地園芸 <収量> (3)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハス液 300mL<100>	継	(継) 効果、薬害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
AH-01液	レタス	適用性 継続	新潟高冷地 長野野菜花き試 愛知農総試<収量> 広島農技 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液 300mL<100>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植8日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 継) ・ 定植前処理での薬害について
		適用性 継続	植調研究所 愛知農総試<収量> 広島農技 <南九州大学> (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	アスパラ ガス	適用性 継続	植調北海道 新潟高冷地 <香川農試三木> (3)	[一年生雑草] ・ 萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
		適用性 継続	植調北海道 新潟高冷地 長野野菜花き試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液 300mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散ないように散布す る。
	ネギ	適用性 継続	石川植防 島根農技 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ブリク ロックL液 600mL<100>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 継) ・ 定植前処理での薬害について
		適用性 継続	石川植防 島根農技 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液 300mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。 ・ 作物に飛散ないように散布す る。

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 アスターラインは新たに判定した部分
AH-01液	キュウリ	適用性 継続	岩手農研南部 長野南信試 鹿児島農総試 (3)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対)バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	ピーマン	適用性 継続	南九州大学 (1)	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対)バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
		適用性 継続	南九州大学 鹿児島農総試 (2)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対)バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	イチゴ	葉害 新規	長野南信試 奈良農総試 (2)	[葉害試験] ・定植直前 ・500, 1000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要	実 ・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300~500mL<100~150L>/10a [春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300~500mL<100~150L>/10a 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 継) 定植直前処理での葉害について年次変動の確認
	ダイコン	適用性 継続	植調青森 栃木農試 埼玉鶴ヶ島 (3)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対)バスタ液剤 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
AH-01液	ニンジン	適用性 継続	植調青森 植調研究所 愛知農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プ'リ'ロックスL液 600mL<100>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 継) 播種直前処理での薬害について 年次変動の確認
	ニンジン	適用性 継続	植調青森 植調研究所 愛知農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プ'リ'ロックスL液 600mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。
	ゴボウ	適用性 継続	北海道十勝農試 青森畑園試 宮崎畑園 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハ'ビ'-液剤 300mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。
	サトイモ	適用性 継続	三重科学技術 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハ'ス液剤 300mL<100>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または植付10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 継) 植付直前処理での薬害について

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
AH-01液	ヤマノイ	適用性 継続	北海道十勝農試 青森畑園試<収量> 三重科学技術セ <収量> (3)	[一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ'-液剤 300mL<100>	保 留	—
		適用性 継続	北海道十勝農試 青森畑園試<収量> 三重科学技術セ <収量> (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ'-液剤 300mL<100>	保 留	—
2. AKD-71637077ル 既知化合物 40% [アグロホネシヨウ]	野菜一 般	作用性 継続	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ ①定植前 (植穴前) 雑草発生前 ②定植後 雑草発生前 ・ 100, 150, 200mL<100> ・ 全面土壌処理	—	
	サト	適用性 新規	植調研究所 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 定植活着後 雑草発生前 ・ 100, 150mL<100> ・ 全面土壌処理	継	継) 効果、葉害の確認
	ダイコン	適用性 新規	植調青森 栃木農試 香川農試 (3)	[一年生雑草] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 100, 150, 200mL<100> ・ 全面土壌処理	継	継) 効果、葉害の確認
	ニンジン	適用性 新規	植調青森 植調研究所 岐阜農技南濃 (3)	[一年生雑草] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 100, 150, 200mL<100> ・ 全面土壌処理	継	継) 効果、葉害の確認
3. AKD-7164水和 シアンジン 50% [アグロホネシヨウ]	タマネギ (直播)	作用性 新規	北海道花・野菜セ 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草 (ワユヲを除く)] ・ 播種後出芽前 雑草発生前 ・ 50, 75, 100g<100> ・ 全面土壌処理	—	(作用性)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈〉は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
4. ALZ-0642液 30%エチル 19.5% クロピクリン 79.5% [アリスタ ライフサイエンス]	ホレンソウ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・播種前 雑草発生前 ・10L (1.0mL/穴) 15L (1.5mL/穴) 20L (2.0mL/穴) ・くん蒸処理 (点注処理) 対) クロピクリン液30L (3.0mL/穴) 処理方法) 7日間くん蒸後、被覆を除去し、 7日後を目安に耕起、さらにその 後3日以上放置し定植する。	—	
	ホレンソウ	適用性 新規	〈植調研究所〉 長野野菜花き試 (2)	[一年生雑草] ・播種前 雑草発生前 ・10L (1.0mL/穴) 15L (1.5mL/穴) 20L (2.0mL/穴) ・土壌くん蒸処理 (点注処理) 対) クロピクリン液30L (3.0mL/穴) 処理方法) 7日間くん蒸後、被覆を除去し、 7日後を目安に耕起、さらにその 後3日以上放置し定植する。		
5. ANK-553細粒 ペンデメタリン 2% [BASFアグロ]	ハクサイ	適用性 継続	福島浜地域 三重科学技術 〈収量〉 香川農試 (3)	[一年生雑草(本科、ユカサを除く)] ・定植前 雑草発生前 ・4, 5, 6kg ・全面土壌処理 対) コーゴースン乳 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	アスハ ^ラ ガス	適用性 継続	山形最上産地研 新潟農総園研 長野野菜花き試 (3)	[一年生雑草(本科、ユカサを除く)] ・萌芽前 雑草発生前 ・4, 5, 6kg ・全面土壌処理 対) 慣行	継	継) 効果、葉害の確認
	サトイモ	適用性 継続	新潟農総園研 (1)	[一年生雑草(本科、ユカサを除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 ・4, 5, 6kg ・全面土壌処理 対) コーゴースン乳 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	ショウガ	適用性 継続	植調研究所 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草(本科、ユカサを除く)] ・植付後 雑草発生前 ・4, 5, 6kg ・全面土壌処理 対) 慣行	継	継) 効果、葉害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 く>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アタ-ラインは新たに判定した部分
6. BAS-656乳 ジメナミド-p 64% [BASFアグロ]	ブロッコリー	適用性 継続	新潟農総園研 京都丹後<収量> (2)	[一年生雑草(ジ科、アカザ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 30, 40, 50mL<100> ・ 全面土壌処理 対) アグロマックス水和 200~300g<100>	実・継	実) [春夏作、露地; 一年生雑草(ジ科、アカザ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 50mL<100L>/10a 注) 夏期高温時での使用を避ける 継) 年次変動の確認
	タマネギ	適用性 継続	北海道農研 北海道北見農試 (2)	[一年生雑草(ジ科、アカザ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 75, 100, 120mL<100> ・ 全面土壌処理 対) 慣行	実	実) [春夏作、露地; 一年生雑草(ジ科、アカザ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 75~120mL<100L>/10a
7. BCY-069くん蒸 メチルイソシアネート 30% [ハイエロクロップサイエンス]	ショウガ	適用性 新規	植調研究所 千葉大環境健康ファクトリー (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ①被覆資材除去1日後に定植 ②被覆資材除去7日後に定植 ・ 26, 6, 40, 0kg ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) 被覆材下にスプレーヤーを挿入(空間確保)→処理区短辺一方からノズルを挿入し薬剤を噴出	継	継) 効果、薬害の確認
8. MON-96A液 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	アスパラガス	適用性 継続	北海道花・野菜セ (H19, H18秋処理; 翌 春調査) (1)	[スキナ] ・ 生育期 スキナ生育期 ①春処理(5月下旬) ②秋処理(9月) ・ 2000mL<25, 50> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実・継	実) 従来どおり [春夏作; スキナ] ・ 生育期 スキナ生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 2000mL<25~50L>/10a (専用ノズルを使用する) 注) ・ スキナの草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 継) ・ 北海道での秋処理における翌春効果の年次変動について
9. NC-3607ロアフル キザロップエチル 7% [日産化学工業]	ニンジン	適用性 継続	岐阜農技南濃 京都丹後 (2)	[一年生イネ科雑草(スミメノカタビラを除く)] ・ 生育期 ①イネ科雑草生育期(3~5葉期) ②イネ科雑草生育期(6~8葉期) ・ 200, 300mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ナゾ乳 150mL<100>	実	実) 従来どおり [春夏作、露地; 一年生イネ科雑草(スミメノカタビラを除く)] ・ 生育期 イネ科雑草3~8葉期 全面茎葉処理 200~300mL<100L>/10a

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
10. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	キャベツ	薬害 継続	兵庫農技 香川農試 (2)	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 継) ・ 定植3日前処理での薬害につい て年次変動の確認
	ハクサイ	薬害 継続	福島農総 三重科学技術 <収量> 香川農試 (3)	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	レタス	薬害 継続	兵庫農技 和歌山農大 香川農試 (3)	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	ホレンソウ	薬害 継続	植調青森 長野南信試<収量> 島根農技 (3)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実	実) 従来どおり [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	アスパラ ガス	適用性 継続	植調北海道 長野野菜花き試 福岡筑後 (3)	[スギナ] ・ 生育期 スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500<25, 100> 2000mL<25> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実	実) [春夏作; スギナ] ・ 生育期 スギナ生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 1500~2000mL <25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 注) ・ スギナの草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	ネギ	薬害 継続	石川植防 島根農技 鹿児島大隅 (3)	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
NC-622液	サイン	適用性 継続	岩手農研南部 植調研究所 鹿児島農総セ (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<25>	継	継) 効果、葉害の確認
	ダイ	葉害 継続	埼玉鶴ヶ島 岐阜農枝 (2)	[葉害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実	実) 従来どおり [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	ニン	葉害 継続	新潟農総園研 岐阜農枝南濃 京都丹後 (3)	[葉害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	実 継	実) 従来どおり ・ [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 継) ・ 砂土での葉害について
	サト	適用性 新規	新潟農総園研 三重科学技術セ 宮崎畑園 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<25>	継	継) 効果、葉害の確認
		葉害 新規	新潟農総園研 宮崎畑園 (2)	[葉害試験] ・ 定植直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
ヤマ	サト	適用性 継続	三重科学技術セ (1)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<25>	継	継) 効果、葉害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
11. NH-007フロアフル ビュラフルフェニル 0.16%、 グリホサートイソプロピルアミン 塩 30% [日本農業]	ネギ	適用性 継続	石川植防 植調研究所 栃木農試黒磯 <収量> 鳥取園試弓浜砂丘 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 400, 500, 600mL<100> ・ 全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 500mL<100>	実 ・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 400~600mL<100L>/10a 継) ・ 定植直前処理での薬害について 年次変動の確認
	ネギ	薬害 新規	石川植防 植調研究所 (2)	[薬害試験] ・ ①定植前日 ②定植3日前 ・ 600, 1200mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
12. NP-55乳 セトキシム 20% [日本曹達]	カリフラワー	適用性 継続	和歌山農試<収量> (1)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ 生育期 イネ科雑草生育期(3~5葉期) ・ 150mL<100, 150> 200mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) 効果、薬害の確認
	カリフラワー	薬害 継続	和歌山農試<収量> (1)	[倍量薬害試験] ・ 生育期 ・ 400mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ホウチャ	作用性 新規	北海道花・野菜 北海道道南農試 (2)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ 生育期 イネ科雑草生育期(3~5葉期) ・ 150, 200mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) 効果、薬害の確認
	ホウチャ	適用性 新規	植調北海道 (1)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ 生育期 イネ科雑草生育期(3~5葉期) ・ 150, 200mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ホウチャ	適用性 新規	植調研究所 千葉大環境健康ファ クト (2)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・ 生育期 イネ科雑草生育期(3~5葉期) ・ 150mL<100, 150> 200mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
NP-55乳	ホトチャ	薬害 新規	北海道花・野菜 北海道道南農試 (2)	[倍量薬害試験] ・生育期 ・400mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要		
13. SYJ-100乳 プロスルカルブ 78.4% [シンジェン ジャパン]	ニンジン	適用性 新規	北海道花・野菜 植調北海道 植調青森 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・播種後(出芽前) 雑草発生前 ・400, 500mL<100> ・全面土壌処理 ・展着剤不要 対) ゴーゴ-サシ乳 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
14. SYJ-171液 ハラコート 12.4% [シンジェン ジャパン]	レタス	適用性 継続	植調青森 <宮城園研> 愛知農総試 福岡豊前 (4)	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対) プリグ ロックスL液 600mL<100>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000mL<100~150L>/10a
	レタス	薬害 継続	和歌山農試(農業大 学校)<収量> (1)	[薬害試験] ・定植直前 ・1000, 2000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要		
	レタス	適用性 継続	植調青森 <宮城園研> 植調研究所 福岡豊前 (4)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) プリグ ロックスL液剤600mL<100>	継	
	ホレンソウ	適用性 継続	新潟農総園研 植調研究所 島根農技 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対) プリグ ロックスL液 600mL<100>	実	
	ホレンソウ	薬害 継続	島根農技 (1)	[薬害試験] ・播種直前 ・1000, 2000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
SYJ-171液	おレンカ	適用性 継続	長野野菜花き試 <収量> 島根農枝 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) フリガ ロックスL液剤600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ネギ	適用性 継続	石川植防 植調研究所 栃木農試黒磯 <収量> 奈良農総試 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) フリガ ロックスL液 600mL<100>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500~1000mL<100~150L>/10a [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500~1000mL <100~150>/10a 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。
	ネギ	薬害 継続	植調研究所 奈良農総試 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	スイカ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) フリガ ロックスL液 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	スイカ	薬害 新規	石川砂丘地 鳥取園試 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	スイカ	適用性 新規	植調研究所 長野野菜花き試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) フリガ ロックスL液600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 除草剤

薬 剤・名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
15. TMZ-9911液 ヨウ化ナトリウム 99% [アリス ライサイエンス]	ヨウカ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロビ' クリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去 →7日後を目安に耕起 (3日間放置)→定植	継	継) 効果、薬害の確認
	ヨウカ	適用性 新規	植調研究所 千葉大環境健康ファクトリー (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) クロビ' クリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去 →7日後を目安に耕起 (3日間放置)→定植	継	継) 効果、薬害の確認
16. YF-65L液 ジクワット 7%, バ'ラコート 5% [シンジェンタ ジャパン]	タノコ	適用性 新規	植調研究所 植調埼玉 (2)	[雑草全般] ・ タノコ収穫後 雑草生育期 (夏期) 草丈30cm以下 ・ 1000mL<100, 150> ・ 2000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	継	継) 効果、薬害の確認
	タノコ	薬害 新規	植調研究所 植調埼玉 (2)	[倍量薬害試験] ・ タノコ発生前 ・ 2000, 4000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
17. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンジェンタ ジャパン]	キャベ'ツ	適用性 新規	宮城園研 新潟農総園研 植調研究所 兵庫農技センター 和歌山農大 南九州大学<収量> (6)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンド'アップ'ハイロード'液250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	キャベ'ツ	薬害 新規	新潟農総園研 兵庫農技センター (2)	[薬害試験] ・ 定植3日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
ZK-122液	レタス	適用性 継続	植調青森 植調研究所 長野野菜花き試 福岡豊前 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用)
	レタス	薬害 継続	植調青森 福岡豊前 (2)	[薬害試験] ・ 定植3日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ホレンソウ	適用性 継続	植調青森 植調岩手 岩手農研南部 植調研究所 島根農技 (5)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	実・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) 継) 年次変動の確認
	ホレンソウ	薬害 継続	島根農技 (1)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	タマネギ	適用性 継続	北海道農研 北海道北見農試 植調北海道 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 250mL<50, 100> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散ないように散布す る。
ネギ	適用性 継続	石川植防 植調研究所 鳥取園試弓浜砂丘 島根農技 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	実・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 耕起または定植3日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) 継) 定植前処理での薬害について 年次変動の確認	

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
ZK-122液	ネギ	薬害 継続	石川植防 岐阜農技 (2)	[薬害試験] ・ 定植3日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ネギ	適用性 継続	奈良農総 島根農技 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 一任	実	実) [春夏作: 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散ないように散布する。
	ダイコン	適用性 継続	北海道道南農試 植調北海道 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50> 500mL<25, 50> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<50>	実	実) [春夏作: 一年生雑草] ・ 耕起または播種8日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 継) ・ 播種前処理での薬害について
	ダイコン	適用性 継続	植調青森 岩手農研南部 植調研究所 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液剤 250mL<100>		
	ニンジン	適用性 継続	植調青森 新潟高冷地 京都丹後 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 液250mL<50>	実	実) [春夏作: 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	ニンジン	薬害 継続	新潟高冷地 (1)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
ZK-122液	ヤマ/イ	適用性 継続	青森畑園試<収量> 新潟植防 三重科学技術< <収量> (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 (対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	継(継)	・ 効果、薬害の確認
	ヤマ/イ	薬害 継続	青森畑園試<収量> 三重科学技術 (2)	[薬害試験] ・ 植付直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要		
18. トリフルアリン乳 トリフルアリン 44.5% [ダウ・ケミカル日本]	ネギ	適用性 継続	奈良農総< 福岡農総試 (2)	[一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、 セリ科、アブラ科を除く)] ・ 培土後 雑草発生前 ・ 200, 300mL<100> ・ 全面土壌処理	実(実)	[春夏作、露地; 一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、セリ科、アブラ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~300mL<100L>/10a [春夏作、露地; 一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、セリ科、アブラ科を除く)] ・ 生育期、培土後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 200~300mL<100L>/10a
19. トリフルアリン粒 トリフルアリン 2.5% [ダウ・ケミカル日本]	ネギ	適用性 継続	北海道上川農試 北海道道南農試 植調研究所 奈良農総< 福岡農総試 (5)	[一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、 セリ科、アブラ科を除く)] ・ 培土後 雑草発生前 ・ 4.5kg ・ 全面土壌処理	実(実)	[春夏作、露地; 一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、セリ科、アブラ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~5kg/10a [春夏作、露地; 一年生雑草(ツクサ科、ハツリグサ科、セリ科、アブラ科を除く)] ・ 生育期、培土後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4~5kg/10a

B. 平成18年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-7164水和 シアナジン 50% [アグロネーション]	ネギ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草(ツクサ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前~始期 ・ 70, 100, 150g<100> ・ 全面土壌処理	—	・ 前回の判定どおり

B. 平成18年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. SYJ-100乳 プロシメカルブ 78.4% [シンジエンタ ジャパン]	タマシ	適用性 継続	植調青森(春処理) (1)	[一年生雑草] ・ 春期 雑草発生前～始期 (定植後土壌処理剤との体系処理) ・ 全面土壌処理 ・ 400, 500mL<100> ・ 展着剤不要 対) ゴーゴーサン乳剤 春期全面土壌処理(雑草発生前～始期) 300mL<100>	—	・ 前回の判定どおり
3. SYJ-171液 ハコト 12.4% [シンジエンタ ジャパン]	社	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックス 600mL<100>	—	・ 前回の判定どおり
	社	薬害 新規	植調研究所 (1)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要	—	・ 前回の判定どおり
	社	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 社 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 ・ 対) プリグロックス 600mL<100>	—	・ 前回の判定どおり
4. ZK-122液 グリサートカリウム塩 43% [シンジエンタ ジャパン]	社	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 250mL<50>	—	・ 前回の判定どおり
	社	薬害 新規	植調研究所 (1)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要	—	・ 前回の判定どおり
	社	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 社 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 250mL<50>	—	・ 前回の判定どおり

B. 平成18年度秋冬作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
5. リニロン水和 リニロン 50% [デューボン]	ニンニク	適用性 新規	青森農総研 青森畑園試 (2)	[一年生雑草] ・ 植付前または前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 100, 150g<100> 対) コーゴ-サシ乳	一	・ 前回の判定どおり

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 グリンネートP 11.5% [明治製薬、北興化学 工業]	カーネーション	適用性 新規	北海道花・野菜 長崎総農試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	イチゴ	適用性 新規	北海道花・野菜 岩手農研 長野野菜花き試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
2. ANK-553細粒 ベンディメタリン 2% [BASFアグロ]	サツキ	適用性 新規	三重科学鈴鹿 (1)	[一年生雑草(サツキ科、ツツジを除く)] ・ 生育期 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 全面土壌処理 対) 慣行	継	継) 効果、薬害の確認
	ツツジ	適用性 継続	埼玉農総森林緑化 鳥取園試 (2)	[一年生雑草(サツキ科、ツツジを除く)] ・ 生育期 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 全面土壌処理 対) 慣行		
3. FUIN-2 (IBBJL-861) 粉粒 ダグメット 98% [アグロネショウ]	イチゴ	適用性 継続	長野野菜花き試 鹿児島農総研 沖縄農研 (3)	[多年生広葉、スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌 と十分混和→ビニール等で被覆(7 ~14日間)→被覆除去→2回以上 耕起(ガサ抜き)→播種または定 植	継	継) 効果、薬害の確認

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
FUIN-2 (旧BJL-861) 粉粒 [委託者]	トルコキ ヨウ	適用性 継続	山形庄内産地研 栃木農試 広島農技 (3)	[多年生広葉, スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌 と十分混和→ビニール等で被覆(7 ~14日間)→被覆除去→2回以上 耕起(ガス抜き)→播種または定 植		
	リンドウ	適用性 継続	山形農研農生技 茨城園研 (2)	[多年生広葉, スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌 と十分混和→ビニール等で被覆(7 ~14日間)→被覆除去→2回以上 耕起(ガス抜き)→播種または定 植		
	ユリ	適用性 継続	新潟高冷地 広島農技<収量> <鹿児島農総む> (3)	[多年生広葉, スギナ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15~25cmの土壌 と十分混和→ビニール等で被覆(7 ~14日間)→被覆除去→2回以上 耕起(ガス抜き)→播種または定 植		
4. GG-152微粒 グリホサートイソプロピルアミン 塩 3%, フルミオキサジン 0.1% [日本ガーリーランド・ガー デン]	花木	適用性 継続	埼玉農総森林緑化 京都農総研 奈良農技 鳥取園試 福岡果樹苗木 (5)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 10, 15, 20kg ・ 畦間茎葉処理 対) グリホサートイソプロピルアミン塩 15kg	実 ・ 継	実) [(ツツジ, サツキ); 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 10~20kg/10a 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。 継) ・ その他樹種への拡大
5. GL-40液 グリホサートイソプロピルアミン 塩 1.3%, MCPAイソプロピルアミン塩 0.25% [住化ケイダ 園芸]	花木	適用性 新規	埼玉農総森林緑化 三重科学鈴鹿 鳥取園試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 20, 25, 40L ・ 畦間茎葉処理 (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	継	継) 効果, 葉害の確認

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
6. Hoe-866液 ケルネット 18.5% [ハイル クロップサイエ ス]	カーネーション	適用性 新規	＜茨城園研＞ 広島農技 鹿児島農総研 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	実 ・ 継	実) [春夏作(ケルネット、ストック、ユリ); 一 年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 300～500mL <100～150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈20cm以下で散 布 する。 ・ 作物に飛散しないように散布す る。 継) ・ カーネーションでの効果、薬害の確認
	カーネーション	薬害 新規	広島農技 鹿児島農総研 (2)	[倍量薬害試験] ・ 生育期 ・ 500, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ストック	適用性 継続	千葉暖地園研 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ストック	薬害 継続	広島農技<収量> (1)	[倍量薬害試験] ・ 生育期 ・ 500, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ユリ	適用性 継続	新潟農総園研 広島農技<収量> 鹿児島農総研 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ユリ	薬害 継続	広島農技 鹿児島農総研 (2)	[倍量薬害試験] ・ 生育期 ・ 500, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
7. MRS-199液 ケルネットイソプロピルアミン 塩 1% [ニューファム]	花木	適用性 新規	山形農研農生技 埼玉農総森林緑化 三重科学鈴鹿 鳥取園試 (4)	[雑草全般] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 25, 40L ・ 畦間茎葉処理 (希釈せずそのまま散布) ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	花木	適用性 継続	埼玉農総森林緑化 (1)	[雑草全般 (スギナを除く)] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液250mL<25>	実 ・ 継	実) [(ツツジ, ササキ); 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。 継) ・ その他樹種への拡大 ・ 多年生雑草への効果の確認
9. TMZ-9911液 30%化剤 99% [アリス ライフサイエンス]	カーネーション	適用性 継続	茨城園研<収量> 広島農技<収量> (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) カルビクリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起→3日間放置 →定植	実 ・ 継	実) [春夏作 (サトウ, カネーシオン); 一年生 雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 20kg 注) 薬剤容器を被覆資材下に設置 し燻蒸処理後3日間密閉、放置す る。処理4日後に被覆除去し、除去 後7日後を目安に耕起する。耕起4 日後に定植する 継) ・ 15kg処理での効果の確認 (サトウ, カ ネーシオン)
	サトウ	適用性 継続	長野野菜花き試 沖縄農研 (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) カルビクリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起→3日間放置 →定植		

D. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8151 (L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アグロカネショウ]	メロン	適用性 継続	千葉暖地園研 静岡農試 (2)	[果実肥大及びネット形成促進] (1回処理) ・縦ネット発生期～横ネット発生期 ・1000, 2000倍<100-200mL/株> ・株散布 (反復処理;2回) ・縦ネット発生期→横ネット発生期 ・1000倍→1000倍 ・<100～200mL/株> ・株散布 対) 一任	実	実) 従来どおり [果実肥大及びネット形成促進] ・縦ネット発生期～横ネット発生期 株散布 1000～2000 倍 ・<100～200mL/株> 2 回以内
2. T-2000S粒 シュート・モナス フルオレセンス FPT-9601 10 ⁷ cfu/g [多木化学]	キャベツ	適用性 継続	長野野菜花き試 く南九州大学> (2)	[育苗期の伸長抑制] ・播種時 ・600mL/128穴トレイ ・覆土として使用	継	継) 効果、薬害の確認
	レタス	適用性 継続	植調研究所 長野野菜花き試 和歌山農大<収量> (3)	[育苗期の伸長抑制] ・播種時 ・600mL/200穴トレイ ・覆土として使用	継	継) 効果、薬害の確認
3. ジ'ベ'リン水溶 ジ'ベ'リン 3.1% [日本ジ'ベ'リン研究会]	イチゴ	適用性 新規	栃木農試栃木 奈良農総セ 山口農試 佐賀農研セ 長崎総農試 熊本農研セ 宮崎総農試 (H18, 19) (8)	[ランナー発生促進、大苗化促進] ・採苗時ランナー発生直前 ～発生初期 ・50ppm ・茎葉処理 (10mL/株)	実 ・ 継	実) [ランナー発生促進] ・採苗時ランナー発生直前 ～発生初期 ・茎葉処理 ・50ppm (10mL/株) ・効果の確認された品種; とちおとめ、さちのか、山口ST9 号、さがほのか、とよのか 継) ・大苗化促進効果について

E. 平成18年度秋冬作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. NSH-1液 シタケ菌糸体抽出物 1% [野田食菌工業]	ニンニク	適用性 継続	青森畑園試 (1)	[品質向上 (肥大促進)] ・鱗片分化期 1 週間後から7日お き3回散布 ・鱗片分化期 2 週間後から7日お き3回散布 ・300倍×3回<100, 200> ・葉面散布 ・展着剤を加用する 対) サンキャッチ液剤 鱗片分化期 3 週 間後 300倍 1回散布	一	・前回の判定どおり

E. 平成18年度秋冬作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究 会]	トマト	適用性 新規	青森農総砂丘研 (1)	[着果促進] ・ 開花前日～翌日 ・ ジベレリン200ppm+トマト>50倍, トマト>50倍 ・ 花または子房部に1回散布 ・ 無処理区は人工交配区	実	実) [春夏作; 着果促進] ・ 開花前日～翌日 ジベレリン200ppm+4-CPA50倍 花または子房部に散布

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. JFR-010水溶 ジベレリン 5% [丸和ハイ]	イチゴ	適用性 新規	鹿児島農総 沖縄農研 (2)	[草丈伸長促進] ・ 生育期 ・ ①1000倍 (GA50ppm) 1回 ②1000倍 (GA50ppm) 2回 (散布間隔7～10日) ③500倍 (GA100ppm) 1回 ④500倍 (GA100ppm) 2回 (散布間隔7～10日) ・ 茎葉処理 対) ジベレリン粉末または液剤 生育期 50-100ppm (2回散布)	継	継) 効果、薬害の確認
2. NPK-063粒 (旧EL-500粒) フルルグリミドール 1% [日本農業]	アザミ	適用性 継続	千葉農総研 東京農総研 (2)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理	実・継	実) [(カイズカイブキ、ヒバ、イヌヅナ、イヌマ、 ツツジ、ヘビカサネチ); 新梢伸長抑 制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 土壌混和处理 ・ 10～30kg/10a 継) ・ その他の樹種での効果、薬害の確 認
	ウハメカシ	適用性 継続	東京農総研 (1)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		
	カサネチ	適用性 継続	東京農総研 三重科学鈴鹿 (2)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		
	トウネズミ モチ	適用性 継続	東京農総研 (1)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		
	マサキ	適用性 継続	埼玉農総森林緑化 東京農総研 (2)	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理		

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. YS-071液 既知化合物 [ヤマ産業]	サト	作用性 新規	長野野菜花き試 福岡農総試 鹿児島農総試 (3)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①定植直後 (定植後3日程度) ・ ②生育期 ・ 1本/株 (33mLアンプル) (1) 0.0010%, (2) 0.0016%, (3) 0.0025% ・ アンプルを土壤に挿入 対) スミチンP液 1mL<50~100mL> 土壤灌注	—	
	ペチュニア	作用性 新規	<山形置賜産地研> 神奈川農総試 長野野菜花き試 (3)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①定植直後 (定植後3日程度) ・ ②生育期 ・ 1本/株 (33mLアンプル) (1) 0.0010%, (2) 0.0016%, (3) 0.0025% ・ アンプルを土壤に挿入 対) スミチンP液 1mL<50~100mL> 土壤灌注	—	
4. ダミジッド 水溶 ダミジッド 80% [日本曹達]	ジャカガ	適用性 継続	埼玉農総森林緑化 <中間> 福岡果樹苗木 <中間> (2)	[矮化効果及び花芽着生数増加] ・ 新梢伸長完了期を1回目として 3回処理 (1ヶ月間隔) 75倍→75倍→75倍 100倍→100倍→100倍 <100mL/5号鉢> ・ 茎葉処理	保 留	(中間データのため)
5. ダミジッド スプレー 液 ダミジッド 0.4% [日本曹達]	アザミ	適用性 新規	<新潟農総園研> <福岡果樹苗木> (2)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 摘芯後 7~30日 (1回) ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 摘芯後 7~30 日 150~200倍 茎葉処理	保 留	(試験中のため)
	サト (大輪 ぎく)	適用性 新規	愛知東三河 岐阜農総 <広島農総> 福岡農総試 (4)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①摘芯10日後 または定植3日目 (計1回) ②摘芯10日後または定植3日目 →1回目の30日後 (計2回) ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 摘芯10日後また は定植3日目及びその後30日間隔 1~2回200~400倍、茎葉処理	継 続	継) 効果、葉害の確認

F. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ダミゾットスプレー液	サトウ (小中 輪ぎ く)	適用性 新規	愛知東三河 岐阜農技 広島農技 鹿児島農総試 (4)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①摘芯7日後 (計1回) ・ ②発蕾初期 (計1回) ・ ③摘芯7日後 →発蕾初期 (計2回) ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 ①摘芯7日後 (計1回) ②発蕾初期 (計1回) ③摘芯7日後→発蕾初期 (計2回) 200-400倍 茎葉処理	継	継) 効果、葉害の確認
	ハイラン ジア (アジサイ)	適用性 新規	茨城園研 <栃木農試> 東京農総研 福岡農総試 (4)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 定植3日後 (1回) →定植30日後 (1回) (計2回) ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 定植3日後および定植30日後 100-200倍 茎葉処理	継	継) 効果、葉害の確認
	ハブタン	適用性 新規	山形置賜産地研 兵庫農技 <奈良農技> 広島農技 (4)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 定植3日目 (1回) ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 定植3日目 100-200倍 茎葉処理	継	継) 効果、葉害の確認
	ベチニア	適用性 新規	山形置賜産地研 神奈川農技 兵庫農技 奈良農技 (4)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 定植後2週間目 (摘芯7日後) 1回 ・ 茎葉処理; 十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 定植後2週間目 (摘芯7日後) 100-200倍 茎葉 処理	継	継) 効果、葉害の確認
6. ジベリン液 ジベリン 3.1% [日本ジベリン研究会]	サトウ	適用性 継続	愛知東三河 (1)	[開花促進、草丈伸長促進] (1回処理) ・ 生育期 ・ 25, 50ppm<80> ・ 茎葉処理 (反復処理; 2回 (1週間間隔)) ・ 生育期 ・ 25ppm<80>→25ppm<80> 50ppm<80>→50ppm<80> ・ 茎葉処理 注) 40株/区以上	実	実) 従来どおり [サ; 開花促進、草丈伸長促進] ・ 生育期 茎葉処理 (十分量) 25~100ppm (2回以内)